

夢

追

い

人



(有)内藤額縁店

社長 内藤 肇 蔵 さん

TEL 〇九四四一八八一三三三三
FAX 〇九四四一八八一三三三三

大好きなあの選手の、思い出のユニフォームをいつも眺めていた。いつまでも大切に保管したい…。大切な思い出を額縁に入れて残してきたい。皆さんはこんな思いを持ったことはないだろうか。

もしそうなら、内藤額縁店のサイトにアクセスすることをお勧めする。内藤額縁店では、経験豊かなスタッフがあなたのナビゲーターとしてオリジナルの額装のお手伝いをしてくれる。紙やキャンバスに描いた作品は勿論、厚みのある作品やあなたの宝物でも大丈夫だ。

内藤額縁店のウェブサイト (<http://homepage2.nifty.com/nato-frame/>)を通じて、オリジナルの額縁を作ることができる。どんな方法でだろうか。社長の内藤肇蔵さんに伺った。「まずサンプルのページから自分の品物・作品に近いサンプルを探して頂きます。それから、フレーム材料、必要なマットを選択します。材料は、二百種類以上揃えていますから、ほとんどの場合ぴったりのものが選べると思います。その後『お問い合わせフォーム』又はメールで当社

に問い合わせさせて頂きます。」

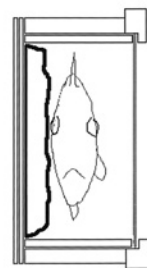
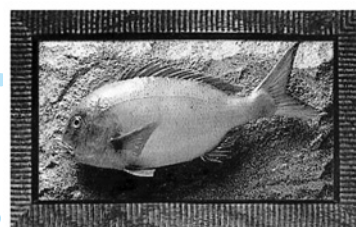
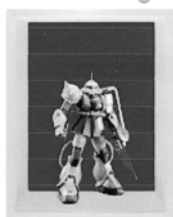
その後、納得できれば作品や思い出の品を送付できる。内藤額縁店からは、リアルなコミュニケーション画像が送られて来るのでそれに基づいて、更にかい打ち合わせをメールを通じて行える。こうして自分だけのオリジナルの額縁が完成する。わくわくするではないか。

作業場を訪れてみた。そこには、ユニフォーム類が多数保管されていた。見てみると立教大学のラクロスチームユニフォーム、平成国際大学野球部のユニフォーム…。いずれも卒業生たちに額縁に飾って贈るものだそう。他にもロベルト・バツジョのサイン入りユニフォーム。イチローや佐々木、それに背番号55松井の自筆サイン入ユニフォームなどもある。いずれもお客さんから送られてきたものだ。それに幼い子供の記念になる衣服、肖像画など、さまざまである。

「版画、日本画、ハネムーン写真、等の平作品は勿論、立体的な押し花、プラモデル、子供のファーストシューズ、トロフィー、楽器、CD、等ほとんどの物



大切なもの・素敵な思い出…
いつも眺めていられる



↑中身は魚になつてくる



に対応できます。物理的に不可能な場合を除いて、あらゆる可能性を検討し、できるだけ要望に添う形で解決したいと思っています。」と内藤さんは話す。

額縁一筋七十年の実績がある。同業者の依頼も受ける。内藤さんは技術力の確かさについて「日本一の家具の町大川の地の利を活かし、一部の製造工程に額縁業界の技術だけでなく、家具製造技術も転用利用しています。もっとも電子マットカッター等最新の設備も備えています。」と話す。

工場、工房直販なので流通マージンもなく、安価である。

自分だけの大切な思い出を永く、オブジェのように大切に楽しみたい。そんな願いに応えてくれる、新しいタイプの額縁は貴重な存在である。